

(別紙4(2))

事業所名:五根の家・グループホーム

目標達成計画

作成日:平成29年12月27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	適切な言葉がけができていない職員がいる。そういった職員に対し、適切な言葉がけができるような取り組みができていない。	適切な言葉がけにより、ご利用者から信頼される職員を増やす。	適切な言葉がけができていない職員をみかけた際は、チームでフォローできるよう声をかえあったり、ミーティング等で自分自身の言葉がけが適切なものかどうか考える機会を作る。	6ヶ月
2	48	ご利用者の高齢化とともに外出の機会が減っている。日常生活の楽しみにつながるような支援が少なくなっている。	ご利用者の体調を考慮しながら外出する機会を増やし、日常生活の楽しみにつながるような支援をする。	気候がいい日やご利用者の体調がいい日をみはからい、職員を調整し、外出する機会を増やすようにする。	3ヶ月
3	33	終末期の対応で不安な部分はないか、本人、ご家族には聞き取りができていないが、対応する職員には不安等がないか聞き取りができていない。	終末期の対応で職員にも不安等の聞き取りを行うことで、チームで支えるという意識をもち、本人やご家族に安心感をもってもらえるようなサービスを提供する。	一人の方を除いては皆さん90歳以上なので、「死」が意味するもの、本人やご家族の心の揺れ、職員の対応など、ミーティングや日常の申し送り等で共有していく。また、必要に応じて職員の面談を行う。	6ヶ月
					ヶ月
					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。